

## 第1回 1stペンギンクラブ「グローバルディスカッション」

### <ご挨拶>

すでに日本は少子高齢化の時代に入っています。今後も日本が繁栄をつづけるためにはグローバル化以外に選択肢はありません。グローバル人材の育成はもはや一握りのトップ・エリートのみであることを意味せず、すべての日本人、特に今後日本社会を構築するメインプレーヤーになる若者すべてに提供すべき教育となっています。

一方で、日本人は英語に苦手意識を持ち、かつ、自己主張する習慣がありません。そのため海外の学生とディスカッションするときはどうしても受け身になってしまい、ディスカッションをリードすることができません。

そこで今回は、英語の敷居を極力低くする意味で、**公用語を「初心者英語」に設定し、母語を英語としない外国人とディスカッションする「お試し」の場**を提供することにしました。以下が今回のルールです。

1. 他者の間違った英語をいちいち正さない
2. わからないときはまずはボディランゲージで表現することを試みる
3. それでも通じない場合は英語の翻訳ツールの使用を試みる
4. どうしても無理な場合は日本語を使用する
5. 相手の考えを否定しない。反対意見があるときは「質問」する

それでもやはりこのような場に参加したことのない人にとっては、敷居は高いと思われます。しかし終了後はこれまでに体験したことのない達成感と充実感が得られることは間違いありません。本当に緊張するのは最初の3分だけです。開始3分後にアイスブレイクのゲームをやります。そこで口慣らしをする過程でメンバーのことを知ることができ、一気に距離が近く感じます。**最初の3分だけ息を止めて我慢してください**。その後は別世界に誘われます。

### 1. プログラムの目的:

- ・メキシコにおける社会課題の整理を行う。
- ・社会課題をビジネスチャンスと捉え、各自が持つリソースを活かした事業案を作成する。
- ・具体的な予定を落とし込んだアクションプランを作成する。

### 2. プログラム内容

内容	備考
メキシコにおける社会課題の洗い出し	SDGsを参考としながら、メキシコにおける社会課題(解決すべき課題、ニーズ)を明確にする。
各自の持つリソースを洗い出す。	各自が持つリソース(ハード・ソフト)を洗い出す。
社会課題に対する解決策を創出する。	解決すべき課題を「誰にどんな価値を」に置き換え、自社リソースと組み合わせることによって、事業アイデアを創出する。
不足する情報やリソースの洗い出し	不足するリソースと調査が必要なことを明確にする。
発表&ディスカッション	発表は「ニーズ」「活用するリソース」「事業内容(誰にどうやって?)」を行う。
アクションプランの作成	今後の動きについてアクションプランに落とし込む。